

農業経営部会通信

31号

今月の例会報告

☑ 第32回定時総会を開催

新型コロナウイルスが猛威を振るい、全国47都道府県で緊急事態宣言が発令される事態となりました。十勝も感染者数は少ないとはいえ、北海道全体では緊急事態宣言が解除された今もなお特定警戒区域に指定されるなど予断を許さない状況が続いています。

そんな中、4月15日(水)に農業経営部会第32回定時総会を開催しました。会場は平時であれば100名以上が参加可能なところをソーシャルディスタンス・3密に配慮した配置で役員のみ19名の参加で行われました。例年であれば、記念講演で新年度の学びの第一歩をスタートさせ、懇親会の席で改めて挨拶を交わし合うところでしたが、今回はやむを得ず中止としました。記念講演としては、ともにフードバレー推進協議会を設置し熱心に取り組む熊本県から協議会会長を兼任されている小野副知事にお越し頂く予定でした。小野副知事には年度内のどこかで再度お話頂戴できるよう準備をすすめています。

定時総会では、2019年度の活動報告、決算報告、2020年度の方針、予算を決議しました。役員改選では、部会長に(有)トヨシファーム 代表取締役 小倉修二氏、幹事長に(有)福田農場 代表取締役 福田博明氏を選出しました。2020年度はこれまで6つのカテゴリに分けて勉強会を企画してきたところを4つのカテゴリに凝縮。



1つ1つの例会をより厚くしていく方針です。

また、総会終了後すぐに第1回幹事会を開催し、今年度の会員交流会と収穫感謝祭の中止を決定しました。特に収穫感謝祭は1000人以上の来場があり、配慮しきれないという判断です。その年に一番最初にとれたものをまずは地元の皆さんにというコンセプトのイベントですので、今年は中止となってしまいましたが、なんらかの方法で地元の皆さんにお届けできないか検討を重ねていきます。

2020年度 農業経営部会 グループ紹介

① 農業マネジメント

(労働問題、農場指針など足元の経営の見直し、GAP等の認証制度関連の例会)

② 販売戦略

(流通面での工夫やブランディング等商品価値の向上、お客様への発信を目指す)

③ 農業政策・環境

(農業に関わる政策、地域経済、農業を取り巻く様々な環境をテーマに例会企画)

④ 農業新技術(農業経営に関わる新技術を幅広く学べる例会)

例会はグループ毎に企画され、会員は関心のある例会に参加できます。

🔍 今後の予定

● 新たなステップへ

今年度は会員交流会や収穫感謝祭など毎年多くの方に楽しんで頂いている会合も中止。当面活動自粛が続いている状況ですが、WEB会議ツール「Zoom」を活用した勉強会の新たなステップに入っていきそうです。十勝管内は帯広を中心に東西南北に広がっています。普段は帯広での勉強会が多く移動だけで1~2時間かかることも多くあります。ひとが集まることができなくなったことで、いつでもどこからでもひとと話

すことができるようになり、勉強会への参加も容易に、学びの幅が広がったとも考えられます。農繁期に入りはじめ、なかなか沢山の時間が取れなくなるこれからの時期には非常に強みになるものでもあります。6月以降はオンラインを中心に会合を企画していく予定です。この刻一刻と変化する難しい情勢をどう乗り切るか、知恵を出し合い力を合わせて乗り切っていきましょう。